まだらの風

令和７年２月６日
学校便り №２０
校 長　原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

風の日も雨の日も長年にわたり馬渡小中学校の子どもたちを見守ってくれていたグラウンドの大木が、老化して根元が空洞になっているため2月13日伐採されることになりました。地域の方にうかがっても、小さいころに既にこの木はあったとのことですから相当な樹齢だと思われます。たいへん残念ですが安全のための対応となります。

1年生のよみきかせ～1年生がみんなに絵本をよんでくれました～

1月31日、朝の時間によみきかせが行われました。全校児童生徒と職員が1年生教室に集まり、1年生の陽葵さんが絵本を朗読します。タイトルは「ゆでたまごひめ」。サンドイッチ兄弟にさらわれたゆでたまごひめをすくうため、おにぎりたろうやうめぼしまる等のお弁当でおなじみのキャラクターが大かつやくするお話です。陽葵さんが一生けんめい語る楽しいストーリーにみんなが耳をかたむけ、なごやかな朝の時間になりました。子どもたちからは「読むのがじょうずだった」「声がしっかりきこえた」「たくさん人がいてもどうどうと読んでいた」などとたくさんの感想がよせられ、集まったみんなからのあたたかい拍手につつまれました。全校児童生徒がそれぞれお気に入りの本を見つける良いきっかけになればと思います。

「豆まき会」～邪気をはらって幸運を呼びこむ～

２月３日は節分翌日ということで、1、2年生が聖母保育園からお招きを受けて、来年入学する園児と一緒に「豆まき会」をしました。「わすれものおに」「字がざつおに」「おふとん大すきおに」「うんどうしないおに」など自分の中にすむ「おに」に扇をとばしてやっつけると、大きな２匹の鬼が登場。子どもたちはひるみながらも豆をぶつけて見事に鬼を退治しました。学校に帰ってからは６年生企画の「豆まき」です。６年生が扮する鬼がこん棒をもって追いかけますが、子どもたちはこれも豆（SDGsを考えて6年生が紙で作った「豆」です）を盛大にまいて退治しました。立春の前日に豆まきをおこなうことで、邪気や魔物を取りはらい新年に幸運をもたらすといわれています。鬼をはらって２月も良いスタートを切ることができました。

廊下の掲示物に1年間の成長の「あしあと」が

各階廊下には子どもたちの学習成果物が掲示、展示してあります。例えば4年生教室前には、焼き物の魅力を説明した「リーフレット」、空をテーマにした「詩集」、「ようせいのすむ楽しい基地」、何回も書き直せる「おいも」、「さわってきもちいいおもちゃ」などが並べられ、また学習のあしあととして「星空新聞」、「私のじまんの船」、「同音異義語クイズ」などがきれいに貼られています。どの学年も教室の中や外の壁などを見ると、これまでの学習の成果がわかるようになっており、1年間の成長が伝わってきます。はやくも2月になり、今年度のゴールが目の前に迫ってきました。

『まだらだから』お披露目会～島のみなさんに元気・笑顔・発見を～

『まだらだから』は、子どもたちが思う島の良いところ、好きなところを話し合って、ミュージシャンの徳丸英器さんと一緒に作った「馬渡島の歌」です。すでに各ご家庭にお披露目会のチラシが届いているかと思いますが、馬渡小中学校の子どもたち14名の歌声が入った楽曲として完成し、オンラインのミュージックストアで配信されています。当日は徳丸さんと曲に関わったミュージシャンの方々が集まり、子どもたち一緒に歌の発表、ギター演奏、『まだらだから』の CD と記念タオル配付などが予定されていますので、是非お披露目会にご参加ください。

日時　２月 21 日(金)11:30～12:00、場所　馬渡小中学校グラウンド（悪天候時 28 日に延期）